

授業科目                      栄養教育論実習

【担当教員名】 斎藤トシ子	対象学年	2	対象学科	健康
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

【一般目標：G I O】  
 栄養アセスメント、情報の分析、問題点の把握、栄養教育プログラム作成までの作業を行い、個人及び小集団への栄養教育プログラム作成に必要な基本的な技術を修得する。

【行動目標：S B O】  
 1. 栄養アセスメントの技術を身につける。  
 2. 栄養必量を算出することができる。  
 3. 収集した情報を分析し問題点を抽出する技術を身につける。  
 4. 個別及び小集団の栄養教育プログラムの作成技術を身につける。  
 5. 栄養教育技術として大切な媒体作成の基本を身につける。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	エネルギー必要量の算出、安静時代謝量の測定、生活時間調査	1.2.	講義及び実習
2	その他栄養必要量の算出	1.2.	講義及び実習
3	食事調査（栄養素及び食品群別摂取量調査：秤量法）	1.	講義及び実習
4	食事調査（栄養素及び食品群別摂取量調査：半定量食物摂取頻度調査法）	1.	講義及び実習
5	食事調査から栄養素及び食品群別摂取充足率を算出、その他の調査	1.	講義及び実習
6	調査結果の分析	1.	講義及び実習
7	調査結果の分析 * 半定量食物摂取頻度調査法の妥当性の検討	1.	講義及び実習
8	個人及び小集団の問題点の抽出と整理	3.	講義及び実習
9	個人及び小集団の問題点の抽出と整理	3.	講義及び実習
10	栄養教育プログラムの作成	4.	講義及び実習
11	栄養教育プログラムの作成	4.	講義及び実習
12	栄養教育媒体の作成	5.	講義及び実習
13	栄養教育媒体の作成	5.	講義及び実習
14	栄養教育プログラム及び媒体発表	4.5	講義及び実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	アクティブ栄養指導実習	永野君子	医歯薬出版	2003年 ¥2,200+税
参考書	第六次改定日本人の栄養所要量	健康・栄養情報研究会	第一出版	1999年 ¥2,200+税
	今なぜエネルギー代謝か	細谷憲政	第一出版	2002年 ¥2,400+税
その他の資料	必要に応じてプリントを配布			

【評価方法】 出席状況、授業中の態度、レポート、その他提出物から総合的に評価する。	【履修上の留意点】 毎回ノートパソコンを使用するので持参してください。
--	--

健康栄養学科 専門